



週刊京都経済

<http://www.kyoto-keizai.co.jp/>日刊京都経済改題
The Kyoto Economic Journal

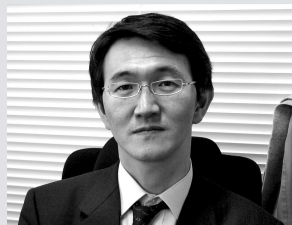
発行所: ©京都経済新聞社

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町 93
京都リサーチパーク
TEL:075-316-1000

伝統的織物を手がける伴戸商店が他用途開発をPR。スニーカー開発にも取り組んでいる。(1面)



「反復の中に自主性がある」愚直さで日本一奪還を目指す京都大アメフト部監督に聞く。(8面)



学生向けマンションの賃貸事業から就職活動支援の付加価値を付けるという。(2面)

金銀を用いた金らん織物の製造卸を手がける伴戸商店(京都市上京区堀川通今出川南入ル、伴戸恒夫社長)が、金らんの多用途展開を活性化させている。京都の伝統工芸を現代のインテリアや家具などとコラボレーションさせる展示会に、金らんを素材として提供するほか、これまでにスポーツ用品メーカーと共同で新製品の開発に取り組んだ。同社の伴戸社長は「伝統的な需要が減少する中、新たな供給先の開発に結び付けたい」と話している。(関連記事を3、7面に)

西陣の素材を現代の生活に

同社の金らんを使った家具が展示されるのは、京都の染織メーカーが組織するファッション京都推進協議会(吉田忠嗣会長)の主催する展示会「Kyoto Style Cafe 2005」。展示される家具は、空間デザイナーの草木義博氏がデザインを手がけたソファとタレントの菊川怜さんがデザインを手がけたベンチの2つ。

前者は、ソファの張地に金らんを使用し、後者は北欧製のベンチに備え付けるクッションの張地とランプシェードに金らんが使われた。

この展示会は、昨年に引き続いて2回目開催されるもの。伴戸商店は昨年、大手スポーツ用品メーカーのアシックス(神戸市中央区)と共同で金らんを使ったスニーカーを開発。展示会に出品している。

今回の展示会は、東京表参道にあるハナエモビル5階にあるラウンズ・ギャラリーエ(東京都港区)で9、10の両日にわたって開催される。

伴戸商店と草木義博氏、菊川怜さんをつないだのは、京都の伝統工芸をデザイナーに結びつける活動を行う特定NPO法人京都伝統工芸情報センター(京都市下京区七条通新町西入ル、岡村重昭理事長)。

同センターの高橋淳一事務局長によると、「NPOの活動を行う中、草木さんからパリの展示会に出品する際に日

本の素材を使いたいということで伴戸商店の金らんを紹介した。菊川さんも建築を勉強されたということで、京都の伝統工芸を発信するのに協力してもらえないかということで、今回のベンチとクッション、ランプシェードのデザインをしてもらった」という。

伴戸商店はこれまで、雛人形など人形の衣裳に使われる金らんや、茶道具、香道具に使われる金らんの製造卸を手がけてきた。10年ほど前から、伝統的な需要が減っていることを背景に、金らんの多用途開発を始めた。これまでに、椅子やソファに使われる張地のほか、バッグや小物入れ、名刺入れなどの商品も開発した。

同社が製造する金らんは、金箔や銀箔、金糸、銀糸を使った織物。織り方により、さまざまな文様を表出させることができる。

文様のデザインや色を組み合わせ、コンピューターグラフィックスを使って同社が独自にデザインして図案化。協力企業の生産ラインなどを使いながら製造卸を手がけている。毎年、年間におよそ300ほどの新しい柄を製造しているという。

同社はこうした用途開発を、収益拡大のほか、金らんの認知度向上に結びつける方針「人形向けの金らん供給をベースに、用途開発で新たな需要を開拓したい」(伴戸社長)という。

視線

京都の伝統産業と現代のデザインを結びつける取り組みの展示会「Kyoto Style Cafe 2005」が今年も今週の9、10の両日、東京・青山の表参道で開かれる。関係者によると、会場となるギャラリーは、東京でも特に情報発信力強い場になっているという。

京都の伝統産業を東京に発信しようという取り組みは公的なものもある。しかし、場所はビジネス街の一角。首都圏のターゲットをちゃんと

取り込みたいと考えるなら、最近注目の銀座や日本橋に移したほうがいいかも。

※

学生向けワンルームマンションを先駆けて事業化した不動産賃貸のJSBがこれまでに蓄積したノウハウを活用し始めた。学生向け就職活動支援事業に取り組むほか、防犯サー

ビスにも乗り出した。就職にしろ、防犯にしろ、まず大事なのは1人1人の自立。京大アメフト部の水野監督の言うような緊張感を持たせられるかがカギになりそうだ。

今週の1枚 侵入者の画像が携帯に届きます



学生向けマンションなどの不動産賃貸を手がけるジェイ・エス・ビー(=JSB、京都市下京区、岡正人社長)グループでマンション管理を手がける総合管財(京都市下京区高辻通東洞院東入)が開発した1人暮らし向けの防犯機器。携帯のサイトから作動状況を操作できる。また、機器自体が小型であることから「不在時は部屋の内側にセンサーを向け、在宅時にベランダに向ければ、外からの侵入者を予防できる」(同社業務部)としている。(7面に関連記事)

ローム、四条烏丸角に進出

ローム(京都市右京区西院、佐藤研一郎社長)は31日、京都市下京区の四条烏丸北西角に立地しているUFJ銀行京都支店の土地と建物を取得したと発表した。取得金額はおおよそ90億円。同社はこの建物を取り壊し、新たな建物を建設した上で、開発部門や営業部門などが入る拠点として活用していく方針としている。

ロームが取得したのは、京都市中京区烏丸通錦小路下ルと下京区四条通室町東入ルにまたがる土地と、現在UFJ銀行京都支店となっている建物。土地はおおよそ2600㎡、建物は延べ床面積がおおよそ6100㎡となっている。建物は、鉄筋コンクリート造りで地下1階、地上5階。付属の建物として駐車場に用いられている平屋がある。

31日付けですでに所有権の移転を済ませた。ロームは、UFJ銀行との賃貸借契約を結び、今年11月まで京都支店として賃貸する。UFJ銀行では11月まで同所で京都支店の営業を続け、12月に近辺にできるオフィスビルに京都支店を移転する予定としている。

ロームは今年12月、耐震性の問題などから建物をすべて取り壊し、新たな建物を建設する予定。具体的な建物の計画は未定としながら、「テクノロジーセンターや営業部門などロームグループの中心拠点として活用していきたい」(広報IR室)としている。また、ロームは本社をこの場所に移転する計画はないとしている。



ロームが取得したUFJ銀行京都支店の建物。地下鉄と私鉄の乗継拠点となっている四条烏丸交差点の角に立地している。

宛名ラベル貼付欄

包装簡素化のため、剥がせるエコシールを採用しています。

総合



学生入居者の就職活動を支援

FILE169 OVO(オーヴォ)

《アントレプレナー》

佐伯孝氏: 1961 年神戸市生まれ。84 年に同志社大工学部を卒業後、大手電機機器メーカーに就職。海外での生産ライン立ち上げなどに携わる。92 年に同社を退社し、学生向けマンションの賃貸事業などを手がける JSB (京都市下京区高辻通烏丸東入、岡正人社長) に入社。2001 年に学生支援に向けた新事業の企画立案を行い、2002 年 12 月、OVO の立ち上げに携わる。

《スタートアップ》

「学生を支援する事業をできないかと考え始めたのがきっかけ」(佐伯氏)。マンション賃貸を手がける JSB で、これまでに蓄積した借主の学生の情報を活用することを企画。就職活動支援を行うなどの事業を立案した。その後、JSB が 100% 出資し、社内ベンチャー的な位置づけで 02 年 12 月に OVO を設立。企画立案を行った佐伯氏は、昨年 12 月、OVO の代表取締役役に就任した。また佐伯氏は、JSB の専務取締役も兼任している。

《ビジネスモデル》

学生向けに就職活動支援事業を行うほか、企業を顧客ターゲットとしたマーケティングリサーチ支援事業を手がけている。

これまで JSB は、同社が提供する学生向けマンションの利用者などおよそ 3 万 3000 件ほどの学生のデータ

ベースを蓄積している。マンションの利用者は会員組織として囲い込んでおり、こうした学生を中心に各種のサービスを OVO が提供している。

具体的には、就職活動時に必要なエントリーシートを添削するほか、面接などで必要な自己表現の手法を講習する。また、新卒採用する企業と学生とを引き合わせ、マッチングさせる交流会なども行っている。

企業向けのマーケティングリサーチ支援では、JSB の学生会員組織を調査対象とし、IT 機器のモニター調査などを行っている。2005 年 9 月期にはおよそ 5000 万円の売上を見込む。

《アドバンテージ》

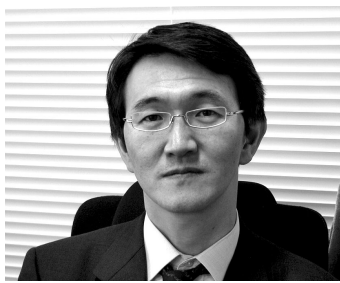
「学生のデータベースがコアになっている」(佐伯氏)。

JSB は賃貸業界の中で、学生向けワンルームマンションを開拓したパイオニア。20 年以上、学生向けマンションの開発、運営・管理、賃貸業務を手がけている。この中で、利用者の学生向けに各種のサービスを提供するなどして会員組織を築いた。こうしたデータベースが中核になっているほか、「JSB とのシナジー効果も高い点が強みになっている」(同) という。

《ビジョン》

「2 年以内をメドに、東京に進出したい」(同)。

企業と学生を結ぶ就職マッチング



佐伯孝・OVO 代表取締役専務

交流会で、ニーズが大きいのは首都圏だという。特に中小規模の企業などをターゲットに、マッチング先となる企業の開拓に取り組む方針。

《ハードル》

「実行部隊となる人材配置をどのようにするかが課題」(同)。

就職マッチング交流会など、ビジネスモデルが固まってきたことから、営業の実行部隊をどのように確保するのが課題になっている。JSB の協力を得ることも視野に入れつつ、体制の整備を急いでいる。

《トピックス》

今年 4 月に 2 回目となる企業と学生のマッチング交流会を開く。参加する企業数は 15~20 社ほどに限り、参加する学生数も 200 人ぐらいに抑える。このことにより、「学生には企業の姿をよく見てもらえ、企業には学生のありのままの姿を見せられる機会になる」(同)としている。

《企業データ》

・住所 600-8098
京都市下京区高辻通東洞院東入ル南側稻荷町 521 番地
京都高辻ビル 3 階
・電話 075-343-3625
・FAX 075-343-3633
・URL <http://www.ovo-c.com/>
・E-mail info@ovo-c.com
・スタッフ数 5 名

同志社小、全体の1/3が自由空間

学校法人同志社(京都市上京区今出川通烏丸東入、大谷實総長)は 31 日、大学の付属として設立を予定している小学校の概要を発表した。現在、同志社高校のグラウンドとして使われている岩倉校地およそ 1 万 6000㎡に、延べ床面積約 7400㎡の 2 階建て校舎を建設する。校舎は、児童が自由に行き来できる「自由空間」を大きく設け、児童の学習意欲を育てるしかけを施す予定としている。

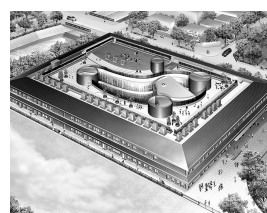
小学校は来年 4 月に開校する予定。入学定員は 30 名の 3 クラス分 90 名、収容定員は 540 名を予定している。男女比やクラス編成、複数学年で開校などについては検討中という。

校舎は今年 1 月から 12 月にかけて建設する。設計監理は高松伸建築設計事務所が手がけた。教育環境などに配慮するため、学校建築が専門の長澤悟東洋大教授が設計監修を行った。校長には、同志社大でキリスト教文化セン

ター所長も務める鈴木直人文学部教授が就任する予定。

建物は、鉄骨の 2 階建て。最大の特長は、2500㎡以上に及ぶ自由空間を建物内部に配置した点。通常の教室のほか、ギャラリーや中庭、屋上、チャペル、グラウンドなど学校施設の様々な場所で教育を行うようにする。

通常の教室は 18 室あるほか、図書館とオープンスペースの図書コーナーを設ける。音楽教室と音楽練習ブースはそれぞれ 2 室づつ設ける。また、パソコン教室を設けるほか、教室とその前に広がるオープンスペースに無線 LAN とノートパソコンを設置する方針。



する玉予同たのの想志自がよ図社由「う。小空大に中学間き空央校くいにの配てま完置いが成

京都市がロケ撮影を支援

2010 年に「年間観光客 5000 万人」の誘致を目指している京都市は、映画やテレビドラマなどの映像を通じて京都の魅力を PR する「ロケ撮影支援窓口」を 1 日、開設した。ロケ撮影ができる関連の施設を紹介し、情報を交換したり相談に乗ったりしながらスムーズに撮影ができるサポートに取り組む。

中心となるのは「水戸黄門」「大岡越前」などの時代劇を手がけている井上泰治・日本映画監督協会関西西部会幹事

ら 6 人の映画監督と市や商工会議所のメンバーら 13 人の委員でつくる「京都市ロケーションサービス推進会議」(事務局・市産業観光局観光部観光企画課)。神社仏閣やレトロな雰囲気のあるユースホステルなど市観光協会の会員施設を中心に 328 件をピックアップし、撮影に適したおすすめのロケ地を紹介する。事務局では「今後協力できる施設を増やしていきたい」と話している。

週刊京都経済

1997 年 12 月 1 日創刊
編集発行人 築地達郎

購読料
月極 1,900 円(税別)
年間一括 21,000 円(税別)

株式会社京都経済新聞社

〒600-8815
京都市下京区中堂寺栗田町
京都リサーチパーク
TEL 075-316-1000
FAX 075-315-8935
info@kyoto-keizai.co.jp
<http://www.kyoto-keizai.co.jp/>

一言投稿も歓迎

現在、投稿を募集しています。テーマの制限、受付の期限はありません。匿名希望の投稿や、他者を誹謗中傷したり公序良俗に反する内容の投稿はお断りします。原稿量は 800~1600 字程度。一言投稿も歓迎します。必ず電子メールで、表題に【投稿】と明記し、toukou@kyoto-keizai.co.jp までお寄せ下さい。なお、本紙以外に、本紙が発行する電子媒体などへも転載される可能性があることをあらかじめご了承下さい。

投稿募集



<http://www.kyoto-keizai.co.jp/>

京都経済新聞社 600-8815京都市下京区中堂寺栗田町 京都リサーチパーク TEL075-316-1000

インターローカル ジャーナル

Ein Brief aus Deutschland

ドイツ南部のニュルンベルグの「コミュニケーションのためのミュージアム (Nuernberger Museum fuer Kommunikation)」で創刊 200 年を迎えた新聞を振り返る展覧会が行われている。

同市を中心に読まれている NZ (Nuernberger Zeitung) 紙の展示ブースは 75 平方メートル。ミュージアム内にしつらえられたごく小さなブースで昔の紙面を紹介したり、時代ごとの特徴がわかるようになっている。さらに現代の記者の仕事を紹介するために取材用のノートなどが展示されている。また 78 年から 91 年にかけてチーフ編集長を務めたグスタフ・ロエダーさんが展示に協力している。

同紙が創刊されたのは 1804 年。以後、他紙と合併したり、第二次世界大戦直後は一時期休刊の時期もある。その後はかつての勢いはなくなった。1970 年代から 80 年代にかけてニュルンベルガー・ナハリヒテン紙などを発行する出版社に買収され、現在も 60 人の編集者によって紙面が作られている。

一方、創刊当初を省みると、背景にはニュルンベルグの位置関係が影響していた。同市はバイエルン州の州都ミュンヘンにつぐ大都市で交通の要所だったため、常に情報が集まっていた。そしてジャーナリストた

創刊 200 年の地域紙



メディアの多様化の時代、新聞の役割を模索する必要がある。

ちのネットワークも早くに作られた。定期購読者は貴族や軍人、そして公務員といった人たちで新聞はドイツ全国とドイツ語圏の国にまで広がった。紙面にはベニスからニュルンベルグの商人にとって大切な情報が載るということもあったほか、他の新聞が同紙に掲載された記事をつかうこともあったというから、通信社のような機能も果たしていたのかもしれない。

200 年のあいだでフィリップ・ファウストがチーフ編集長を務めた 1846-80 年は同紙が勢いのあった時期のひとつだろう。それ以前は情報がテーマ別に編集されていただけだ

ったが、ファウストの編集は意見を盛り込むというところが革新的だった。テーマも読者のニーズに合わせて、国内外の政治のほかに経済を重点的に編集された。

ドイツの新聞は政党的な色合いが反映されるケースが多く、同じ出来事も新聞によってかなり視点が異なる。報道の多様性という点からいうと、ファウストのような新聞人が一役買っているのかもしれない。ちなみに現在の同紙は保守系。ニュルンベルグ地域で発行される他紙に比べてスポーツ関係の記事が充実しており親しみやすい紙面だ。(ドイツ在住ジャーナリスト/高松平蔵)

News & Analysis

金箔や銀箔、金糸、銀糸を織り込んだ金らん織物が、現代のインテリアや家具に応用され始めた。金らん織物製造卸の伴戸商店(京都市上京区堀川通今出川南入ル、伴戸恒夫社長)は、既存の伝統的な需要に加え、多用途開発で金らん自体の素材としての価値をアピールしているという。同社の戦略は何か。これまでに取り組んだ用途開発の軌跡を追った。(1 面に関連記事)

■伝統需要が減少

伴戸商店が金らんの多用途開発を始めたのは 10 年ほど前。きっかけはやはり、伝統的に安定した供給先となっていた分野の需要がじりじりと減ってきたことだった。

金らんの生地は、正確には裂地(きれじ)と呼ばれる。金箔や銀箔、金糸、銀糸を織り込み、文様を表出させる手法を使って織る織物。金糸や銀糸のきらびやかさと赤を基調にした色のあでやかさから、伝統的に裂地が使われてきたのは、人形の衣裳、茶道具、香道具、そして和装小物などだった。同社は、雛人形メーカーなどに向けて金らんの製造卸を行う。

こうした伝統系分野向けに金らんの需要が落ち込み始めたのは 15 年ほど前。バブル崩壊後、雛人形も 7 段飾りだったものが 2 段、3 段飾りの商品に移り変わった。十数体の人形が必要だった商品が数体の人形で構成される商品になる。人形の衣裳に使われる金らんの需要も少なくなるといった構図だ。「十数年かけてじわじわと減った。最盛期に比べて 3~4 割ほどは間違いなく売上が減っている」と伴戸社長は話す。

需要の落ち込みに何とか歯止めをかけられないか。伴戸社長が目をつけたのが、金らんの豪華さをアピールできるインテリア分野だった。



伴戸商店の金らん製造卸。金らん自体の素材としての価値をアピールしているという。同社は、雛人形メーカーなどに向けて金らんの製造卸を行う。

小物入れから家具、スニーカーまで
使い道を開発、
金らんの認知度高める

■展示会に出展

早速インテリア関連の展示会を探しあて、金らんの展示を始める。といっても、「金らんの製造卸しかできない」(伴戸社長)ことから金らんのまま展示するだけだった。

それでも、インテリアメーカーなどから引き合いがあった。実際にカーテンに金らんの応用してみようという取り組みも行う。しかし、金らんは金銀を織り込んだ織物だけに重量がある。

カーテンレールの荷重に耐えられなかった。他にも壁紙に応用してみようという取り組みもあった。こちらは、壁に裂地を張る際、文様を合わせられなかったほか、防災上の課題をクリアできなかったという。

成功したのは、椅子の座面に使う張地。和の空間を演出するような飲食店向けに金らんの文様が合う。都内の駅構内や都心の商業施設にある喫茶店などに同社が供給した金らんの張るソファや椅子がある。

4 年連続してインテリアの展示会に出展した後、方針転換を図った。向けた矛先はギフトショー。金らんのさまざまなギフト商品の素材として活用してもらおうという戦略だ。

このギフトショー出展をきっかけに、バッグや小物入れ、名刺入れ、テーブルクロスなど応用できる商品の幅が広がる。そして、これまで予想なかった商品に金らんが使われるきっかけも生んだ。それが、金らんの裂地を使ったスニーカーだ。

■認知度高める

スニーカー開発のきっかけは、大手スポーツ用品メーカー、アシックス(神戸市中央区)の製品開発担当者とギフトショーで知り合いになったことだった。欧米向けに日本の素材を使った製品開発を進めていることを相談され、金らんを提供。2003 年秋、スニーカーに使う金らんの開発が始まる。

スニーカーは外で使うもの。金らんは外で使われることを想定していない。通常の金らんを使うと、すぐにボロボロになった。金箔部分は日光の影響で金色が消えた。スニーカー向け金らんを作るため、糸は強度の強いものを使用。金箔、銀箔も日光に強いものを使った。そして、出来上がった金らん自体にアクリルコートを施す。

何度も堅牢度や耐久性のテストを重ね昨年 1 月、試作品が完成。すぐに織り始めた。金らんを使った商品は、日米欧で合わせて 1 万足の限定商品として昨年 5 月に発売された。

伴戸社長は「こうした金らんの用途開発が、改めて金らん自体のブラッシュアップにつながる」という。開発過程を通じて、伝統的に使われてきた色調や柄が好まれないことも多かった。小物やバッグなどに使うことで「一般の人が好む色や柄が分かるようになった」(同)。

例えば伝統的に金らん製造でよしとされていたのは、鮮やかな赤。しかし、日常に持ち歩く小物やバッグには派手すぎる。色調を柔らかくしたものや、柄に動物のモチーフを使ったものを導入することもできた。

伴戸社長は「正直に言って、こうした用途開発で新たな収益の柱になることは難しい。しかし、伝統的な需要を安定収入と捉え、単発で商品開発をしたとしても各所に応用することで金らんの認知度が高まる。金らん自体を理解してもらうことが狙い」と話す。



～四条烏丸物語～

第 1 部 プロローグ
(4) 歴史—移り変わる辻

節目に立つ街の姿

ビジネス街として発展してきた四条烏丸が急速に「大人の遊び場」に变身しつつある。変わり始めたのは 3 年ほど前。きっかけの 1 つは、2001 年にオープンした商業施設「新風館」。同館は、大正時代に建てられた NTT の電話交換局ビルを再生したもので烏丸通姉小路下ルに立地する。タウン誌の編集などを手がけるのぞみ(京都市下京区烏丸仏光寺東入ル)社長の藤田功は「近代建築のブームともあいまって、三条通から烏丸通、そして四条へと人の流れが動き始めている」と話す。

■□■

四条烏丸界限がビジネス街として発展した背景には、呉服ビジネスの興隆がある。烏丸通より西に 1 本入った室町筋に、老舗と呼ばれる呉服卸が軒を連ねている。

「昔は室町筋に店を出すことが呉服卸商の悲願だった」と呉

服卸を手がけるウライ社長の裏井紳介は話す。ウライの本体は現在、室町筋にあるが、創業当初は烏丸通に面した場所にあったという。裏井は「淡路島から室町に丁稚に来た先代が店を起す際、本当は室町に店を出したかったが、烏丸の場所に店を構えた。当時は地価が高く、空きも無かったから仕方なしだったと聞いている」と明かす。

室町筋の呉服卸ともつながる形で、大手銀行の京都支店が烏丸通に立地した。近代建築史の専門家によると、大正期から昭和初期にかけて建てられたこれらの支店は、京都のモダニズムを象徴し、歴史的価値の高いものが多いという。

■□■

店のコンセプトは「若い人もおっちゃんも、男も女も誰もが気軽に立ち寄って一杯飲める店」(白波瀬)。通りに面した壁をすべてガラス張りに。シーズン中は野球中継にチャンネルを回す。一方、座敷も用意し、簡単なながらも料理のメニューは 100 種以上。入りやすさと価格の安さが手伝って、女性客ばかりの

団体が入ることも珍しくないという。

安さと手軽さをウリにした「びん」とは対照的に、高級路線で四条烏丸界限を闊歩する人を取り込もうという店もある。本格イタリアンレストランの「パッサーノ・デル・グラッパ」(烏丸通仏光寺東入ル)。出店したのは、町家を改装した居酒屋チェーン「まんざら亭」を運営するステップ(京都市中京区三条通東洞院東入ル)だ。

ステップ社長の木下博史は、出店のきっかけを「年を重ねた自分が本格的な料理の店に行きたい、と思うようになったのがきっかけ」と話す。店のターゲットは「高くてもいいものを求める客」(木下)。指定農家の京野菜などを使い、30 代を中心に懐に余裕のある客を取り込んでいる。「若カップルもクリスマスや記念日など特別な時に来てもらえているようです」(同)。

■□■

四条烏丸に着目し、空間を演出するプロデューサー達の目線は「自らが楽しく過ごせる場所を創りたい」ということだ。経済的な余裕が多少は出てきた。かといって、娯楽的なものには飽きている。これまで繁華街の代名詞だった河原町にはないもの。それが“大人の遊び場”だ。そんな新しい遊び場が、ビジネス街だった四条烏丸にできつつある。(敬称略=この項おわり)



今た電
い年し
建1子
1F部
建2上
物品
を2に
月大
を銀
建設行
するの
と京
と都
り取口
支が
まム
の店
うが
壊この
。建取
物得
しほ
新し

オピニオン



第48回

「林達夫。その名を口にすると、人はみな畏敬の念を隠さない」（向井敏）。それも政治的な立場を越えての賞賛だから、戦後日本にあっては稀有な知識人と言わなければならない。

寡筆だが、広範囲にわたる著作を残しており、代表作は『共産主義的人間』（中公文庫）となろう。1951 年に出された時評集だが、戦後の精神状況を描き、今日にも多くの示唆を与えてやまない。斜め読みには向かない文章だから、味わいながら読みたい。

卓越した語学力をもって西欧の文献に通じていた彼には、不都合な事実は黙殺する議論が放置できなかったのだろう。保守派ではない彼が、当時の親共産派の言論体質に批判の筆をとった。それが表題作の「共産主義的人間」である。

「ブルジョア社会の観察や批判にかけては実に鋭利な切れ味を示す共産主義者にして、事、己の陣営のこととなると子供のような大甘な評価

能力しか発揮できず、敵めあての見え透いた宣伝でさえそれを額面通りに受取って少しも怪しまない人々を案外多く見かけるが」、これは「私にいわせると現代七不思議の一つなのである」。

英国労働党のクロスランドなど、西欧の言論に通じていた彼が、ソ連の現実を日本の読者に伝え、革新派知識人の「大甘な評価」に反省を迫ったのである。だが、この文は裏切りとしか取られなかったようで、「一番同感してくれる人々」がみんな「知らん顔」で、「沈黙の壁」ができた、と後に語っている（『思想のドラマツウルギー』平凡社）。

日本では多くの人がソ連の現実目覚めるのは、1954 年のハンガリー動乱や、さらに後のスターリン批判によってであるが、彼はずっと早くから認識し、警告していた。チェコの共産クーデターの意味もリアルタイムで伝えている（同書「ちぬらざる革命」）。

他の文章もみな面白い。「共産主義的人間」は『林達夫セレクション 1』（平凡社）にも収められているが、岩波文庫『林達夫評論集』（中川久定編）では省かれている。世間一般には今なお薬効あらたかでも、昨今の岩波書店には毒に満ちた文章なのだろうか。

戦後に稀有な自由精神

林達夫

座標軸

ジャストシステムと松下電器産業の「一太郎アイコン訴訟」には驚いた。地裁判決でいきなり「販売差し止め」「製品の破棄」という“激しい”判決が出たのだから。

今までだったら、原告・被告の主張を聞いたうえで裁判長が和解を勧告する、というのが決まったパターン。両者とも「ハハーっ」とばかりに和解に従えば、まずは丸く収まった。

ところが、最近原告・被告がとことん争う。

先日和解した「青色発光ダイオード (LED) 訴訟」でも、一審で両者が歩み寄る気配がなかったからこそ「200 億円の支払いを命じる」という途方もない判決が出た。

今回のアイコン訴訟も、両者の態度が強硬だった。ジャストと松下は売り上げ規模で 600 倍もの開きがある。おまけにジャストは主力製品のワープロソフト「一太郎」が米マイクロソフトの「ワード」に押されて、青息吐息。裁判官も「判官びいき」をしたかったところだろうが、どうにもすり合わせようがなかった。

こうなった理由は割合単純なのかもしれない。各企業が「株主志向」の経営をせざるを得なくなっているからだ。

今回、松下電器がジャストのアイコン利用を放っておいたらどうな

るか。株主の誰かがそれに気づくやいなや、「ジャストの上げた利益の一部は松下のもの。それを要求しなかった経営者は善管注意義務に違反する」と株主代表訴訟を起こすかもしれない。

逆にジャストが安易に折れたら、「利益をみすみす他社に持って行かれたのは経営判断ミス」と、やはり株主代表訴訟を起こされる可能性がある。

現代の経営者にとって、鬼より怖いのがこの株主代表訴訟だ。そのリスクを回避するためにも、一審で安易な妥協はできない——ということになる。

しかし、ジャストが控訴審で再び負けるようなことになれば、同社は文字通り存亡の危機に瀕する可能性が高い。

控訴審ではかなりの確率で和解に持ち込まれることになるのではない。青色 LED 訴訟が結局「6 億円」で和解したように。

そういう目に見える手続きを経るなら、株主は文句を言わないだろう。

民事裁判は、最終決着を委ねる場から、納得できる判断基準を求める場へと変質し始めているのかもしれない。

ジャストの訴訟担当者は、「アイコンのデザインなんて技術じゃない」と息巻いていた。松下のように休眠特許をたたき起こし、「訴訟技術」で稼ぐのもいいかもしれない。

だが、そこには「顧客志向」の発想は薄い。決して長続きはするまい。（編集長・築地達郎）



(第41回)

Life style

素晴らしく晴れた青空。小鳥もさえずり、澄んだ視界に広大な緑が目にしみる。両脇を木立が包む真っ直ぐなロングホール。たくさんのギャラリーの視線を浴びながら、ティーグランドに立つ。若干のワググルの後、いつものアドレスにビタリと入る。静かに呼吸し一気にティクバックした後、流れるような綺麗な軌道で、豪快な音と共にボールをはるか 300 ヤードのかなたに。捻転のきいた理想的なフィニ

理想型のイメージ

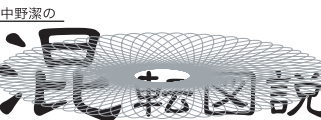
ッシュを保ちながら、ギャラリーの歓声が心地よく聞こえる。

実はこれは現実ではなく、上級ゴルフファーのイメージトレーニングである。膨大な反復練習を重ねて理想型に近づくにつれて、筋肉や体の動きのみならずそのイメージが頭の中に刻銘に築かれていくのがイメージトレーニングである。そしてそのイメージを正確に再現できる人たちが、プロと呼ばれる。

そう言えばスキー場のリフトから降りて滑り待つスキーヤーでも、上手な人は既に理想的な前傾姿勢に入っていて、いまにもすいすいウェ

ーデルンで滑っていきそうな勢いの印象を与える。彼らの頭の中に綺麗な滑りのイメージが出来ていることが感じられる。

イメージトレーニングはスポーツのみならず、例えば多くの人前でのスピーチ、初デート、入社試験など、初体験で緊張を伴うあらゆる行動などにも活用できる。理想型どころか、大まかなイメージなども頭に浮かばない人には成功はおぼつかない。やみくもに練習場でスウィングしているあなた。頭の中にどれくらいきれいでリアルなスウィングのイメージトレーニングができていますか？



(第27回)

前回は、いずれも非接触 IC カードを採用している Edy、Suica、Offica を中心に、電子マネー間の勢力争いについて述べた。今回は、同じ勢力争いを企業との連携という視点から考えてみる。

前回の図で示したが、Edy、Suica、Offica ともに、非接触 IC チップのプラットフォームとしては、ソニーの Felica を採用している。Felica の技術は、ソニー、NTT ドコモ、JR 東日本などが関係するフェリカ・ネットワークスが見ている。Offica の場合、フェリカ・ネットワークスとの付き合いもあるであろうが、システム周辺の技術などでは、アマノ、ネット・タイム、ソリトンシステムズ、ポイントアネックスといった企業と連携をとっている。

Edy の主催組織、ビットワレットは、ソニーのほか、図の「主催組織の関係企業の例」に示した企業と関係している。Offica の主催組織は JCB であり、英国生まれの電子マネー、

ユビキタス情報社会を支える電子マネー(3)

電子マネーと関連企業

電子マネーの名称 あるいは種類	Edy (エディ)	Suica (スイカ)	Offica (オフィカ)	ちょ コム	デビット・カー ド	クレジット・ カード
主催組織の関係 企業の例	ソニー、NTTド コモ、トヨタ、セガ、 ナムコ、タイトー、 日立、JCB		JCB、日本ス マートカードソ リューション ズ		多くの銀行	多くのクレ ジット・カー ド会社
関連するクレジット・ カード会社の例	UCカード		JCB		多くのクレ ジット・カー ド会社	多くのクレ ジット・カー ド会社
関連する銀行の例	三井住友銀行		UFJ 銀行		多くの銀行	多くの銀行
関連する航空会社 の例	ANA	JAL				
関連するコンビニ エンス・ストアの例	am/pm、サークル K、サンクス	ファミリ ーマート				

Mondex の主催組織の 1 つだった日本スマートカードソリューションズも深く関与している。Suica の主催組織は、JR 東日本で、その関連駅ビル会社などとの連携が多い。05 年 1 月の有楽町店を皮切りに、ビックカメラの首都圏 17 店舗で Suica 電子マネーが使えるようになっていくのは、強い追い風になろう。

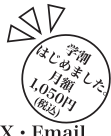
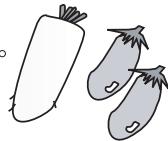
航空会社のマイレージとの提携では、Edy が ANA と、Suica が JAL

と、コンビニエンスストアとの提携では、Edy が図に示した 3 つのチェーンと、Suica がファミリーマートと提携している。

筆者は 3 年ほど前、JR 東日本が Edy 陣営に加わると見ていた。Edy への対抗は、予想外だった。しかし、JR 東日本は、交通定期券の膨大な発行枚数を背景に、独自に電子マネーの「胴元」になる道を選んだ。JR 西日本と組めるかどうか見ものだ。

生産者の顔が見える京野菜のような

わたしたちはそんな新聞作りを目指しています。



購読のお申し込みは、電話・FAX・Email
又は
弊社ホームページよりどうぞ

Journalism
株式会社京都経済新聞社
〒600-8815
京都市下京区中堂寺栗田町
京都リサーチパーク
TEL 075-316-1000
FAX 075-315-8935
info@kyoto-keizai.co.jp
http://www.kyoto-keizai.co.jp/

アジアと世界

中台直行便を
運航開始

旧正月(春節)の休暇で帰省する台湾人を乗せた中国南方航空のジェット機「B777-200」が29日、台北郊外の中正国際空港に到着した。中国本土の航空会社の台湾直行便乗り入れは、1949年の中台分断以降で初めて。

旧正月中には、中国南方航空など台湾と中国の航空会社12社が、中台当局による直行チャーター便の相互乗り入れ合意の下で合計48便運航する。2年前の中台直行便就航の際には、台湾の航空会社だけが運航していた。(*)

米国からレノボに逆風が吹く

コンピューター大手の米IBMによる中国のレノボ・グループ(聯想集団)へのパソコン事業売却計画について、米政府当局が安全保障上の懸念から調査を開始したことが28日、事情に詳しい複数の関係者の話で明らかになった。両社は当局による最初の審査で承認を獲得できなかった。

関係者が匿名を条件に明らかにした

ところによると、米財務省など政府機関で組織する対米外国投資委員会(CFIUS)は27日、12億5000万ドルのPC事業売却によるリスクについて45日間の調査に着手することを決めた。CFIUSは昨年12月以降、この売却について審査しており、1月28日の期限までに承認する考えはないことを示したという。

CFIUSは、中国の工作員が米ノースカロライナ州にあるIBMの施設を利用して産業スパイなどの行動を取る可能性や、米政府によるIBMの技術利用に関する情報をレノボが入手することに懸念を表明している。

また、米共和党のドナルド・マンズーロ下院議員(イリノイ州選出)は1日、中国最大のパソコンメーカー、レノボ・グループ(聯想集団)が米IBMのパソコン事業買収を通じ米パソコン事業の消費者サイドをコントロールする可能性があるとした。

マンズーロ議員はインタビューで、「レノボは米市場を支配しようと試みるだろう。レノボはすでに中国市場を支配している」と語った。

米政府の対米外国投資委員会(CFIUS)は、IBMの部門売却で、米政府によるIBM技術利用の詳細がレノボ側に伝わることになるのか調査している。マンズーロ議員らは1月27日付のスノー米財務長官あての書簡で、安全保障の観点から米政府によるこの買収計画に対する調査を拡大するよう求め、CFIUSは28日、45日間に及ぶ調査を決めた。

マンズーロ議員は、レノボが「ただ単に市場シェアを求めて米国に進出するだけで、米企業に悪影響を与える、あらゆるタイプの危険性に関与する可能性がある。私は、これは間違ったことだと考えている」と述べた。

レノボ広報担当アンジェラ・リー氏はコメントを控えている。(*)

買収の資金調達は4行から

中国最大のコンピューターメーカー、レノボ・グループ(聯想集団)が米IBMのパソコン事業買収に関連し、6億ドル(約620億円)の融資獲得のため、オランダのABNアムロ・ホールディングなど銀行4行を起用した。銀行関係者が28日明らかにした。

香港の銀行関係者が匿名を条件に述

べたところによれば、ABN、フランスのBNPパリバ、英スタンダード・チャータード銀行、中国工商銀行(亜州)は、ほかの金融機関に対し期間5年のレノボ向け融資への参加を呼び掛けている。期限は3月2日まで。レノボは先月、12億5000万ドルでIBMのパソコン部門を買収することで合意した。(*)

「中国は途方もない市場だ」

世界2位の民間航空機メーカー、米ボーイングは、先週中国から72億ドル(約7450億円)規模の契約を獲得したが、中国への輸出を大きく伸ばしている米企業は同社だけではない。

半導体製造装置最大手の米アプライド・マテリアルズの2000年の対中輸出は全体の売上高の1%に過ぎなかったが、昨年までにその割合は12.5%に上昇し、金額は10億ドルに達した。

米国の政治家が中国からの輸入を背景に米貿易赤字が過去最大に膨れ上がったことを声高に叫んでいる間も、ボーイングやアプライドなどの米企業は対中輸出で利益を上げている。

全米製造業者協会(NAM)の国際ビジネス政策担当ディレクター、ウィリアム

・プリモシュ氏は、「中国からの輸入が大きな注目を集めている一方で、米企業にとって非常に大きいビジネスチャンスがある」と指摘する。NAMの試算によれば、2004年の米企業の対中輸出は前年比26%増の350億ドルと、2000年に比べて倍以上となった。

ボーイングは今月28日、中国の航空会社に新型航空機「7E7」を60機納入する契約に調印。7E7としては最大の受注となった。民間航空機担当の上級バイスプレジデント、ラリー・ディッケンソン氏は調印後のインタビューで、中国について、「途方もない市場だ。国際業務に身を置くなら、参入すべきだ」とし、20年以内に米国を除くと、中国は日本に代わり同社にとって最大の顧客になると述べた。(*)

Asia Briefing

露、IMFへ返済前倒し

ロシア政府は国際通貨基金(IMF)に対する債務33億ドル(約3429億円)全額について返済を前倒しする。同国では1998年の金融危機以降、7年連続で景気が拡大しており、原油や天然ガスの価格急騰を背景に歳入が増加している。

1月31日遅くにウェブ上に掲載された発表文によると、同国政府は今年、原油輸出による歳入を財源に債務を返済する。同返済は2005年から2008年にかけて予定されていた。世界2位の原油供給国であるロシアでは、石油輸出による歳入を財源とするいわゆる安定化基金の残高は、1月1日現在で186億ドルとなっていた。(*)

アジア向け原油
輸送費が高騰

パルシャ湾からアジア向けに原油を運搬するタンカーレートは2日、供給が細っている中で用船契約者が3月分の船舶予約を入れたため、4日連続で上昇、6週間ぶりの高値を付けた。

200万バレル積み超大型タンカー(VLCC)での運搬レートは過去1週間、2倍以上上昇している。1月31日には1日の上昇幅としては過去1年間で最大の伸びを記録。石油輸出国機構(OPEC)は今週、現行の生産枠を維持することで合意している。

船舶ブローカー、ノール・オーシャン(本社オスロ)のブローカー、パール・マンソン氏は「船舶保有者らは再び自信を取り戻しつつある」と指摘。「来週の中国の旧正月休みを控えて、需要は引き続き拡大するだろう」と述べた。(*)

大韓航空、04年決算で
黒字に転換

韓国最大の航空会社、大韓航空が28日発表した2004年決算は、前年の赤字から黒字に転換した。韓国国民による海外旅行が増加したことに加え、不採算便の運航を一時中止したことが寄与した。

同社発表によると、2004年の純損益は4720億ウォン(約474億円)の黒字と、前年の2410億ウォンの赤字から改善した。営業利益は3850億ウォン、売上高は7兆2000億ウォンだった。

重症急性呼吸器症候群(SARS)の流行で旅行客が減少した2003年から、アジアで全体的に回復傾向が見られるなか、韓国政府による週休2日制の導入が航空機利用需要の増加を後押しした。

同社はジェット燃料価格の高騰に伴う損失を最小限にとどめるため、コスト削減を続けている。ジェット燃料は

通常、航空会社の経費全体の15-40%を占める。昨年ジェット燃料は一時7割高と高騰。ただ、ウォン高・ドル安により、燃料費高騰の影響は一部緩和された。また、同社はコスト削減を目指し、不採算の5都市行き国際便の運航を一時取りやめている。(*)

中国海洋石油、
今年は19%増産

海洋油田で中国最大手の中国海洋石油(CNOOC)は2日、中国近海の海洋油田・ガス田での石油・天然ガス生産量を今年19%増やす計画を発表した。

発表資料によれば、同社の中国近海にある海洋油田・ガス田の生産量は今年、原油1億4100万-1億4600万バレル相当に達し、2004年の1億1800万-1億2300万バレル相当を上回る公算が大きい。開発関連投資を33%増やし22億ドル(約2300億円)とする一方、探査関連予算は据え置く。(*)

米モンスター、中国求人
サイトの株を取得

求人サイト最大手の米モンスター・ワールドワイドは3日、中国のオンライン求人サイト大手、チャイナHRドット・コム(株)の株式40%を5000万ドル(約52億円)で取得したと発表した。

同社は発表文で、この株式取得が米国外での売り上げ拡大につながると指摘。モンスターの米国外での売上高は、昨年の売上高の約25%を占める。チャイナHRの登録利用者は320万人で、顧客企業は28万社。

マイケル・シレック最高財務責任者(CFO)は同日のインタビューで、「われわれは中国市場が向こう数年間で大きく拡大すると見込んでいる」と述べ、「この投資により、当社はその成長に参加するために良い立場を確保した」と語った。(*)

文末に(*)がある記事はBloomberg

旧正月の飾り物を買う香港市民。世界中のチャイナタウンでも同じように旧正月を祝う。占い師は「今年の金融市場は安定性と成長が見込める」というが、市場関係者もこれを支持している。=Bloomberg、2005年2月2日香港にて)

京都企業

京セラとオムロン、共に下方修正

京セラ（京都市伏見区竹田、西口泰夫社長）とオムロン（京都市下京区堀川通塩小路東入ル、作田久男社長）は、相次いで2005年3月期の決算見通しを下方修正した。京セラは10月に発表した売上高1260億円から1150億円に、オムロンが同6500億円から6000億円にそれぞれ修正した。

京セラは、ソーラーエネルギー事業などで堅調な拡大があるものの、携帯電話やデジタルカメラ市場の価格競争が激化したことから、通信機器の売上が減少する見通しとしている。

また、オムロンは円高市場や中国市場の減速、秋口以降に景気が減速した

ことが下方修正の原因としている。両社はまた、当期純利益も修正。京セラは、前回発表の480億円から80億円減少(34.1%減)の400億円に、オムロンは同340億円から30億円(8.8%減少)の310億円に下方修正した。

京セラが27日に発表した2004年3月期第3四半期決算は、連結売上高が前年同期比9.4%増の8926億4200万円、純利益は同71.9%増の571億6300万円と増収増益となった。

オムロンの同期第3四半期決算も売上高が前年同期比7.9%増の4496億円となり、税引き前純利益が同23.9%増の431億1100万円の増収増益だった。

04年10~12月期 景気回復は減速

京都商工会議所はこのほど、経営経済動向調査(2004年10~12月期)の調査結果をまとめた。結果によると、同期の国内景気動向について「上昇」と回答した企業は23.1%、「下降」とする企業数は17.8%となった。景気指標となるBSI値は前期実績の11.6から大幅にダウンした2.7となり、景気回復の動きが鈍化した。

また、企業経営動向では自社業況でBSI値が前期実績のマイナス2.0から5.6に改善。一方、05年1~3月期はマイナス10.0となり、4~6月期もマイナス1.6となっており、依然景気回復が弱含みで推移する見通しという。

たんしん Brief Notes

連結子会社で 中国基盤を強化

経営コンサルタントを手がける日本エル・シー・エー(京都市中京区、久保裕滋社長)はこのほど、中国のコンサルティング会社「北京如水慧」(北京市、景文学会長)を連結子会社化すると発表した。

日本エル・シー・エーは2004年2月に上海に現地法人を設立し、日本企業や日系企業を顧客に展開。今回、中国国内の企業や中国に進出する日本企業の支援コンサルティングを行う「北京如水慧」を子会社化することで、中国での新

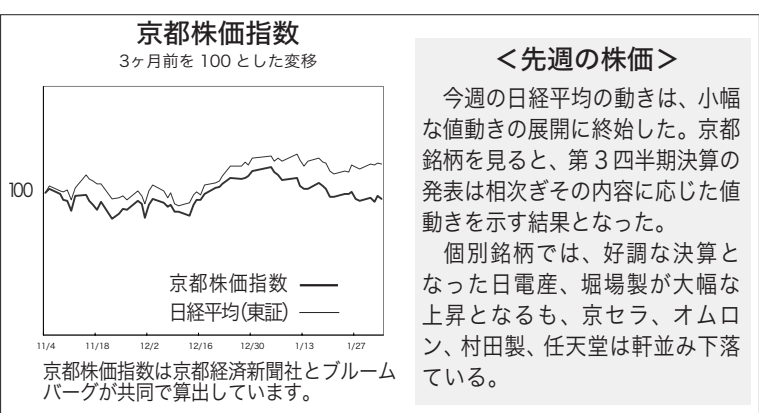
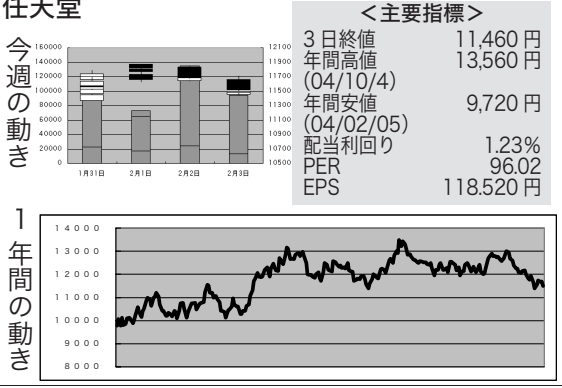
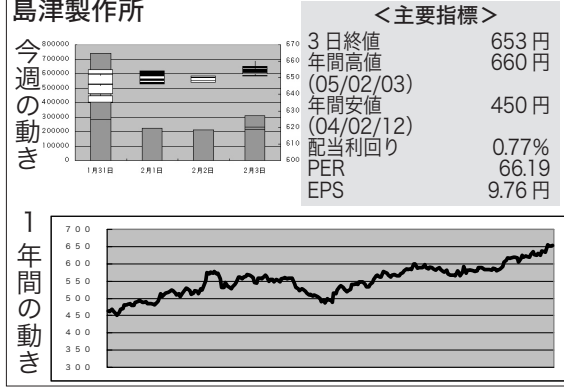
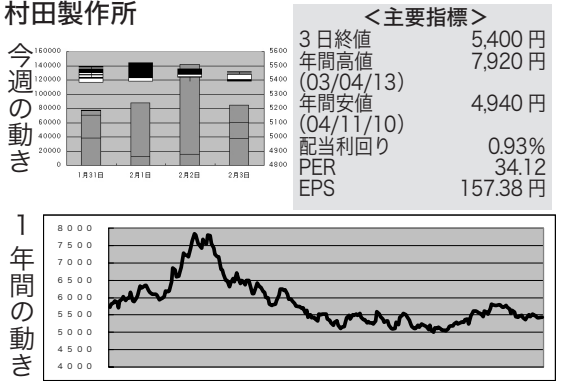
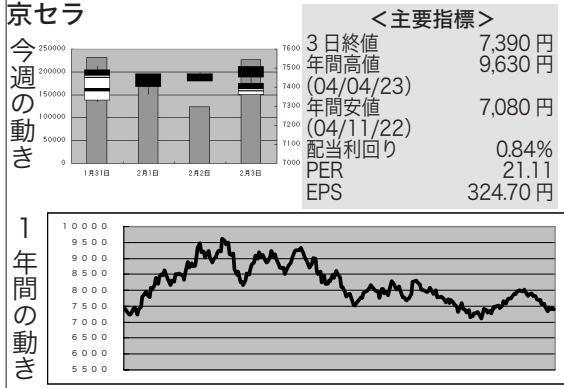
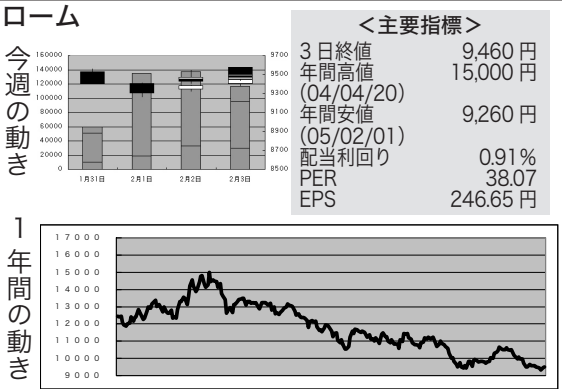
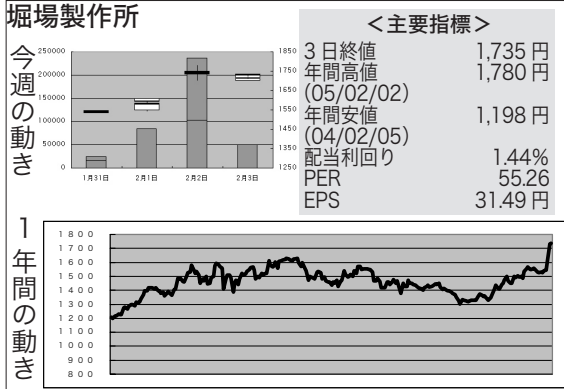
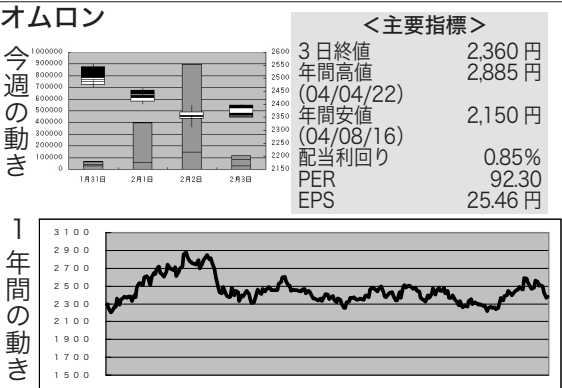
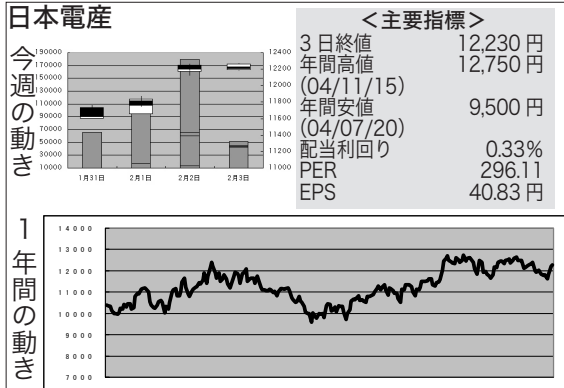
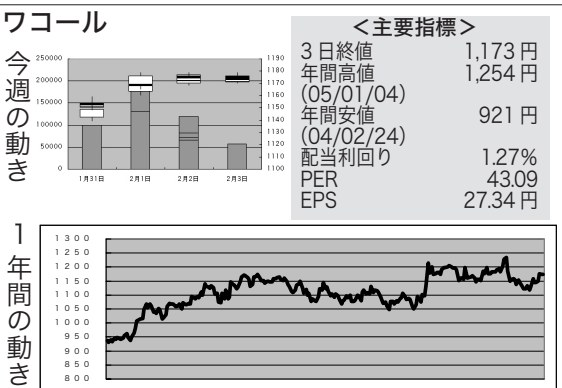
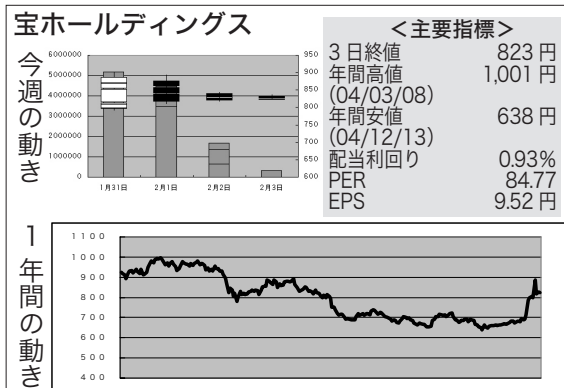
たなビジネスの紹介や、日本企業が中国に進出する際のより詳細な情報提供が行え、基盤が強化されるとしている。連結子会社後の日本エル・シー・エーの持分は105万円で資本金全体の70%。

村田製作所が 機構改革

村田製作所(京都府長岡京市、村田泰隆社長)は1月31日、同社の機構改革の概要を発表した。事業は現在の5事業部体制を①コンポーネント事業部②デバイス事業本部③モジュール事業本部の3事業本部体制に移行し、担当事業領域を広げることでマーケティングや企画開発力を高めるという。

技術開発体制は現在の先端技術開発センターを技術開発本部に統合。新しい技術・事業領域を調査・研究する組織として次世代技術研究所を新設する。

《京都主要株価》
PERは株価収益率(株価をEPSで除したもの)、EPSは一株当たりの利益額個別企業の「今週の動き」、表上の灰色部分は一日の取引量をあらわす。また黒と白の部分は日足(始値、高値、安値、終値のレンジ)を示している。



京都株式動き 2月4日(前場)

	終値	高値	安値	売高	前週終値	前週比	騰落率
1790 平和興	503	503	503	1,000	505	▲2	-0.40%
1897 金下建	681	710	681	4,000	700	▲19	-2.71%
2531 宝HD	807	826	803	1,056,000	800	7	0.88%
3002 グンゼ	477	481	477	373,000	480	▲3	-0.63%
3009 川島織	168	170	167	254,000	166	2	1.20%
3521 エコナック	54	54	53	160,000	53	1	1.89%
3551 ダイニツ	401	401	394	40,000	393	8	2.04%
3570 オリカ	362	374	351	1,008,000	292	70	23.97%
3591 ワコール	1,178	1,179	1,166	165,000	1,144	34	2.97%
3600 フジックス	573	573	573	1,000	575	▲2	-0.35%
4406 日理化	260	260	259	31,000	260	0	0.00%
4461 一工業	338	340	336	61,000	332	6	1.81%
4471 三洋化	768	770	765	78,000	757	11	1.45%
4516 日新薬	867	873	861	67,000	853	14	1.64%
4671 ファルコ	1,257	1,275	1,255	2,900	1,265	▲8	-0.63%
4696 ワタベ	2,405	2,480	2,405	33,400	2,485	▲80	-3.22%
4728 トーセ	1,529	1,529	1,506	1,500	1,509	20	1.33%
4735 京進	1,370	1,370	1,370	300	1,367	3	0.22%
4962 互応化学	815	815	815	2,000	800	15	1.88%
5928 アルメタクス	337	342	337	5,500	324	13	4.01%
5955 ヤマシナ	25	26	23	8,088,000	27	▲2	-7.41%
5957 日東精	292	292	288	92,000	281	11	3.91%
5966 KTC	330	331	330	2,000	350	▲20	-5.71%
5985 サンコ	602	607	601	32,000	610	▲8	-1.31%
6315 トーワ	851	865	849	70,600	847	4	0.47%
6482 ユーシン精機	1,691	1,707	1,690	13,000	1,712	▲21	-1.23%
6594 日電産	12,090	12,230	11,870	156,300	11,800	290	2.46%
6641 日新電	341	349	340	158,000	351	▲10	-2.85%
6645 オムロン	2,350	2,370	2,340	178,600	2,510	▲160	-6.37%
6748 星和電	680	683	680	8,000	678	2	0.29%
6833 電産リード	1,350	1,350	1,350	200	1,200	150	12.50%
6856 堀場製	1,740	1,750	1,734	86,000	1,538	202	13.13%
6674 GSユアサ	218	220	217	497,000	219	▲1	-0.46%
6963 ローム	9,390	9,500	9,350	179,600	9,460	▲70	-0.74%
6971 京セラ	7,180	7,260	7,140	1208,400	7,340	▲160	-2.18%
6981 村田製	5,370	5,420	5,370	147,300	5,490	▲120	-2.19%
6996 ニチコン	1,300	1,303	1,293	81,900	1,300	0	0.00%
7105 ニチコ	386	389	379	29,000	370	16	4.32%
7510 竹菱電機	871	871	871	1,000	900	▲29	-3.22%
	終値	高値	安値	売高	前週終値	前週比	騰落率
7701 島津	646	652	643	300,000	633	13	2.05%
7735 スクリン	621	631	616	665,000	642	▲21	-3.27%
7915 日写印	1,475	1,501	1,470	20,000	1,453	22	1.51%
7919 野崎紙	188	190	188	7,000	194	▲6	-3.09%
7974 任天堂	11,380	11,610	11,360	212,400	11,560	▲180	-1.56%
7979 松風	1,135	1,137	1,135	8,000	1,130	5	0.44%
8027 ルシアン	152	154	152	82,000	150	2	1.33%
8115 ムーンバット	148	149	148	56,000	147	1	0.68%
8118 キング	330	338	330	28,000	317	13	4.10%
8148 上原成	602	602	602	2,000	590	12	2.03%
8244 京都近鉄	179	181	179	5,000	180	▲1	-0.56%
8248 ニッセン	1,347	1,363	1,343	133,400	1,373	▲26	-1.89%
8276 平和堂	1,497	1,499	1,495	12,000	1,459	38	2.60%
8366 滋賀銀	676	678	673	154,000	625	51	8.16%
8369 京都銀	880	898	880	128,000	892	▲12	-1.35%
8515 アイフル	11,890	12,000	11,860	110,100	11,810	80	0.68%
8552 びわこ銀	186	187	186	11,000	183	3	1.64%
8577 ロプロ	851	863	834	376,400	767	84	10.95%
9049 京福電	138	138	138	10,000	135	3	2.22%
9319 中央食	1,171	1,171	1,171	5,000	1,199	▲28	-2.34%
9723 京都ホ	374	374	347	2,000	346	28	8.09%
9826 JEU G I A	191	191	191	1,000	189	2	1.06%
9936 王将フード	1,360	1,360	1,360	2,000	1,350	10	0.74%
1788 三東工業	295	296	292	8,000	292	3	1.03%
2658 ウライ	445	445	445	1,000	440	5	1.14%
3607 クラウティア	1,771	1,771	1,751	900	1,830	▲59	-3.22%
4295 フォーイス	289,000	299,000	285,000	1,732	254,000	35,000	13.78%
4798 日本LCA	549	555	541	39,200	525	24	4.57%
5820 ニッ星	395	395	395	2,000	385	10	2.60%
6387 サムコインター	1,900	1,900	1,890	2,300	1,970	▲70	-3.55%
6414 川重冷熱	394	395	394	2,000	380	14	3.68%
6654 不二電機	890	895	890	700	870	20	2.30%
6837 京写	431	436	431	3,000	440	▲9	-2.05%
6914 オプテックス	2,420	2,450	2,420	25,100	2,445	▲25	-1.02%
8462 FVC	222,000	235,000	220,000	55	234,000	▲12,000	-5.13%
4330 セラテム	141,000	144,000	139,000	504	134,000	7,000	5.22%
4923 コタ	764	764	760	4,000	685	79	11.53%
6677 エスケーエレ	310,000	310,000	302,000	161	310,000	0	0.00%
6467 ニチダイ	660	660	660	100	660	0	0.00%
6669 シーシーエス	1,110,000	1,130,000	1,110,000	84	1,190,000	▲80,000	-6.72%

※売買が成立しなかった銘柄の「終値」は前日以前の最終の終値です。その場合「前日終値」は直近取引日の前の最終取引日の終値です。

ビジネス・戦略

学生向けマンションなどの不動産賃貸を手がけるジェイ・エス・ビー(=JSB、京都市下京区高辻通烏丸東入、岡正人社長)のグループ会社でマンション管理の総合管財(京都市下京区高辻通東洞院東入)はこのほど、ワンルームマンションなどで簡便に使える防犯システムを開発、販売を始めた。このシステムは、侵入者があると機器が音と光で威嚇。撮影した侵入者の画像を利用者の携帯電話に送信できるもの。初年度に1万台の販売を目指す。(1面に関連記事)

ワンルーム向け 防犯機器を開発

総合管財が開発したのは、「パーソナル・セキュリティ・システム」。機器を希望小売価格2万9925円(税込み)で販売し、月額利用料は2478円(同)と設定した。

このシステムは、赤外線センサーとライト、ブザー、小型カメラを内蔵した機器を常時接続のインターネットに接続するもの。機器を作動させると、センサーが室内を監視。侵入者があると、センサーに反応する仕組み。

センサー反応があるとまず光と音を1分間ほど発し、侵入者を威嚇する。その上で、広角レンズを備えた小型カメラが、侵入者の姿を撮影する。撮影された画像は、総合管財のサーバーに蓄積。同時に、サーバーを経由して自動的に利用者の携帯電話に室内に異常があったことを知らせるメールを送信する。利用者はメールに添付されたアドレスにアクセスすると、撮影された画像を確認することができる。

異常を知らせるメールは、本人のほかに5件まで登録が可能。このため、

利用者の家族のアドレスを登録しておけば、離れて居住する家族にも異常を即座に知らせることができる。

また、異常を知らせるメール受信とともに、契約した警備会社に出動サービスを要請することもできる。(出動ごとに別途有料)。

JSBはこれまで、学生向けのワンルームマンションの開発、賃貸・管理事業を展開してきた。この中で、離れた土地に1人暮らしする子の安全を守って欲しいと、親からの要望があったと

いう。監視カメラ設置はコストが高いため「簡便な機器と低価格で、防犯を可能にしたいと考えた」(業務部)という。昨年4月に機器の開発に着手。警備会社との業務提携などを進め、機器を先月中旬に発売した。

機器の販売とサービスの受付は、全国にあるJSBの支店で扱うほか、大手電気店、大学生協などでも取り扱いを行う予定。1人暮らしの大学生のほか、単身赴任者などをターゲットに、初年度1万件の契約を目指す。



京都染織が東京でコラボ

「京都伝統の染織メーカーらで作るファッション京都推進協議会(京都市中京区、吉田忠嗣会長)は9、10の両日、東京・青山のインテリアショップ「ラუნヌ・ギャラリエ」で家具とコラボレーションした展示会「Kyoto Style Cafe 2005」を開催する。タレントの菊川怜さんがコーディネイトを手がけたベンチを展示するなど、おしゃれな生活空間を提案しながら染・織・繻のPRに取り組む。

府内の染織など32会社・団体が約380点を出品。京友禅の椅子や西陣の端切れを組み合わせた古着

のジーンズ、長襦袢地を用いた照明など伝統的な素材と家具を組み合わせ、日常生活の空間の中に溶け込んだアイテムとして新たな商品展開を狙うもの。友禅を使った犬の首輪などユニークなグッズもある。

同協議会による東京での開催は昨年に続き2回目。会場は東京・表参道のラუნヌ・ギャラリエ(東京都港区北青山3-6-1 ハナエモリビル5階)。展示時間は両日とも午前11時～午後7時。入場無料。(写真は昨年開催された「Kyoto Style Cafe」の会場風景)

タカラバイオ 鹿児島大学と連携

バイオ事業を手がけるタカラバイオ(滋賀県大津市、加藤郁之進社長)は26日、鹿児島大学(鹿児島市、永田行博学長)と遺伝子工学や農学などの研究分野で連携する大学院を4月に設置すると発表した。食品を遺伝子レベルで解明するニュートリジェノミクス分野や遺伝子工学分野で研究者を養成する。

連携大学院が募集するのは、同大学院博士課程の連合農学研究科資源利用化学連合講座の受講生から1人、修士課程は農学研究科食品機能化学講座から1人の計2名。客員教員に迎えられるのはタカラバイオの加藤社長、浅田起代蔵専務、佐川裕章主幹研究員の3人で、学生は大津市のタカラバイオ研究所などで教員から講義を聞いたり、一部実際の研究にも

携わるという。

連携大学院制度は、高度な研究水準をもつ民間研究所の人材や設備施設を活用して、研究者の養成を行うもの。大学院学生が連携先の研究機関などで研究指導を受けながら、課程修了に必要な単位を大学において履修する事ができるため、産学連携の場として全国の大学での取り組みが拡大してきている。

タカラバイオが連携大学院を設置するのは初の試み。鹿児島大の連携大学院の設置は、宇宙開発事業団との提携など今回で3件目となる。同社は「先端バイオテクノロジーを扱う企業のニーズにあった即戦力を持つ研究者を育成し、鹿児島大学との間で先進的な共同研究を進めていきたい」と話している。

News Digest

1月24日

◆ワタベウエディング、社員の資格取得をサポート

ワタベウエディングは、色彩に対する技能検定「A・F・T色彩検定」の取得サポートを始めた。

1月31日

◆京都銀行、四半期決算

京都銀行は3月期第3四半期決算を発表した。当期利益は158億5900万円で、2005年の3月期決算で当期利益が191億円に達する見込み。

◆京都市、ロケ支援の推進会議を発足

映画監督や商工会議所、市観光協会など13人の委員で構成。座長に清水宏一市観光政策監が就任した。

2月1日

◆ユースン精機がベトナムで事務所開設

ユースン精機は、アジア地区11番目の拠点として、ベトナム・ハノイ市内に駐在員事務所を開設した。また、インドネシア事務所は、ジャカルタ市の中心地から郊外の工業団地に移転した。

◆ドリコム、4社でブログ活用の共同企業体を発足

ドリコム、日立製作所、シック

ス・アパート、ネットエイジの4社は、企業内で使用するイントラネット内のブログ活用を推進する「イントラネットコンソーシアム」を発足した。活用のノウハウや製品情報、企業事例などを紹介していく。

2月2日

◆びわこ銀行、四半期決算

びわこ銀行は3月第3四半期決算を発表した。経常損失が62億4100万円で、当期損失は132億2300万円の赤字。122億円の不良債権処理と繰り延べ税金試算の取り崩し分69億円を税金として支払うなどしたため。

◆TOWA、第3月期四半期決算

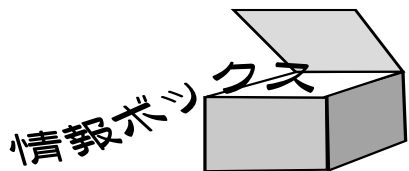
TOWAの2004年第3月期四半期決算を発表した。売上高が前年同期比64.7%増の181億1700万円、経常利益は2億6300万円。純利益は600万円。

◆村田製作所、自己株式所得

村田製作所は36万7600株を市場買付した。買付額は19億9951万5千円。

◆ニチユ、四半期決算

ニチユの3月期第3四半期決算を発表した。売上高は前年同期比9.7%増の401億4400万円。純利益が11億900万円。主力製品のフォークリフトの受注が順調に推移したため。



■未来にはばたく京都(経営者大会)～京のものとあきないの革新～

《日時》2月21日(月) 13:30～17:30

《主催》京都商工会議所

《内容》京のもののづくり企業による経営者セミナー。第一部では、田辺次良を招き「成長する企業の条件」という表題で講演を行う。第二部では「京都のイノベーション」「京のあきない」「京のもののづくり」「京の先端技術と伝統技術のコラボレーション」という四つの分科会に分か

れ、パネルディスカッションなどを行う。

《場所》京都ホテルオークラ

《定員》1,000名(先着順)

《参加費》京都商工会議所会員は無料。

学生1,000円/一般3,000円

《申し込み》下記URLより申し込み

www.kyo.or.jp/kyoto/cgi-bin/frame.cgi?/kyoto/cgi-bin/seminar.cgi

《問い合わせ》京都商工会議所 中小企業経営相談センター

TEL:075-212-6467 FAX:075-256-9743

E-Mail:mailto:soudan@kyo.or.jp

■独立! 創業! 「創業スタートアップセミナー」STEP1

《日時》2月15日(火)18:30～21:00

《主催》大阪産業創造館

《内容》「将来的に創業したい」「創業したいが今の考えでよいかわからない」人の為の創業初歩段階セミナー。森昭彦氏を招き「創業のココロ～事業は、成功すべくして成功し、失敗すべくして失敗する～」という表題で講演を行う。

《場所》大阪産業創造館6F会議室AB(大阪・堺筋本町)

《定員》80名 《参加費》1,000円

《申し込み》下記URLより申し込み。

www.sansokan.jp/events/eve_detail.php?H_A_NO=04475

《問い合わせ》大阪産業創造館イベント・セミナー事務局

TEL:06-6264-9911 FAX:06-6264-9899

E-Mail:ope@b-platz.ne.jp

■SOHO型創業塾

「労務管理の基礎知識」

《日時》2月16日(水) 18:00～20:00

《主催》滋賀県産業支援プラザ

《内容》社会保険労務士の田畑治代氏を招き講演を行う。就業規則や雇用に関する労務管理の基礎知識、就業規則の決め方、給与制度、許容人件費の決め方などの解説を行う。

《場所》草津SOHOビジネスオフィス内会議室

《定員》15名(先着順) 《参加費》無料

《申し込み》下記URLより申し込み。

www.shigaplaza.or.jp/event/2004_09_22/

《問い合わせ》草津SOHOビジネスオフィス
TEL: 077-566-8121

THE KYOTO ECO.

大西辰彦インタビュー

「くらし」と「いのち」の Innovation⁽⁶⁾ (タイトル文字は今井賢一氏)

■昨年、立命を倒し甲子園ボウルを目前にした関学をみごと破りましたね。いい試合でした。一方、リーグでは3敗して、入れ替え戦出場の恐怖を初めて味わった。

「実は、去年のチームは決して弱くなかった。ここ最近のピークだったんです。勝てる実力のチームだった。確かに関学さんに勝てたのは良かったけれど、戦績が低迷したのは大きな失敗だったと思っています。この数年間、『取り組み方』を少し変えてきたんですが、そのやり方が失敗でした。」

■卓越した理論と愚直なまでの反復練習でチームを作っていく水野イズムが変わったと？

「学生気質が変わってきたんです。アクがない。京関戦（対関学戦）のときに、グラウンドに並んだ選手の目は昔と比べてクールですよ。お互いにそうなりますね。」

「最近の京大は私学の中高一貫校からの入学生が増えてるんです。中学受験のために小学校から勉強一筋、京大目指して受験受験。それ以外のことはやらない。小学校の頃にもっとわがままがあつていいのではないかな。反抗期をどう過ごしているのか。もしかしたら反抗期がないのではないかな。最近の京大生を見ていると、つくづくそう思いますね。」

「受験勉強が価値基準になっている。自分が納得しようがしまいが、とにかくマル（正解）を出せばいいという考えが多いんじゃないかな。たいしたマルじゃないことだってあるのにマルがすべてでしょ。本当はそんなに客観的なものじゃない。フットボールにしても、『俺がやってるんだ』っていうきわめて主観的な部分が重要だと思うんだけど。」

■僕が関学のアメフト部にいた頃、京大とやる時は本当に怖かった。もやしっ子と揶揄される偏差値トップの学生からは想像も出来ないほどの執念、いや怨念を感じてました(笑)

「昔は『我れが、我れが』っていうのがあった。今は車体やタイヤばかり大きくなって、エンジンが小さくなっている感じ。まじめにやって、努力もしている。でも364日間をその(年に1度の京関戦の)2時間に集中させるとい

新しい「公」の基盤となるのは「しなやかで強靱な個」だ。ところが、次代を担う若者たちの自我意識はますますひ弱になっているように見える。その影響は、関西学生スポーツの金字塔「京都大学ギャングスターズ」(アメリカンフットボール部)にまで及んでいるという。昨年、リーグ戦3敗という危機に直面した水野彌一監督に、ライバル・関西学院大学KGファイターズ出身の大西辰彦氏が聞いた。

基本の反復こそ自主性育てる 「今年は愚直なフットボールで日本一奪還」 京都大アメフト部監督 水野 彌一さん



う熱い思いが感じられない気がする。

「そこで、選手の自主性に任せることにしたんです。たとえば選手が失敗してもそれを責めない。言われなくても選手はわかっているんだと考える。僕にとっては初めてのやり方だったけど。」

「かつて平尾誠二選手がいた頃の神戸製鋼ラグビー部がそうだった、というわけです。確かにあのチームはアマチュアスポーツの理想だと思う。選手が自分たちで考えて決める。個々の自主性や判断力を重視する。押し付けじゃないから、選手のやる気が違う。おのずといい成績が出て、さらにやる気生まれる。いい循環ができる。うちもそれをやろうとした。」

■それは監督の判断だったんですか？

「最終的に僕が決断したわけですが、実は選手やコーチから強く出てきた意見だった。私自身にもそれまでの京大フットボールが教条主義になりすぎていたのではないかとこの反省もあつ

水野 彌一さん (みずの・やいち)

1940年(昭和15年)京都市下京区生まれ。パイロットを目指して防衛大に入学するが腰を痛めて断念、京都大工学部へ。「1試合だけの助っ人」という約束で触れたアメリカンフットボールに魅せられ、一生をかけることに。68年に大学院修士課程修了後、トヨタ自動車に就職したものの、3年目に自費で米国留学して本場のコーチング手法を学ぶ。73年からアメフト部(ギャングスターズ)コーチ、80年に監督就任。日本選手権優勝4回など国内トップクラスのチームに育て上げた。2001年度から京都府教育委員を務め、学校教育改革に積極的に関わっている。

た。『われわれのフットボール』というのにこだわりすぎた。それを選手に背負わせてしまっているという意見があつて。選手がやりたくてやってるんだから、選手を信じよう、と。」

■なぜうまくいかなかったのですか？

「言葉にすれば単純ですが、結局は、選手個々の自己形成ができていなかった。学生は、『こうやればいい』というような知識はもっている。コーチの教えることをすぐ理解する。でもフットボールを分かるということは理屈じゃないんです。試合中は、『ものをどう見るか』ではなく『どう見えるか』

が問題なんです。本当に上手い選手というのは、体は自然に反応していて、頭では次のシーンのことを考えている。頭で考えながらやっている選手とはそこが違う。そのコマ何秒で勝負が決まるんですね。かつての関学はそうでした。フットボールに対する造詣が深く、自分のことも、相手のことも見えていたんですよ。」

「うまくなったときのことはうまくなってみないと分からない。その『分からんこと』をやるのを、今の子はものすごく嫌がる。受験勉強が価値基準になってるから。根本のところで他力本願なんでしょうね。自分で見つけようとしなくて、外に答えを見つけれ」

「とにかく愚直に、繰り返し繰り返しやる練習の中で、ふと気づくものがある。ちょっと哲学っぽいですが、それが自己形成にとってすごく大事なことです。退屈な反復練習の繰り返しは実は自主性を高めるんですね。昔はコーチの体制も整ってなかったから、選手が自分でやるしかなかったですわね。」

「かつては京大生の愚直さが強みだった。関学大や立命大に比べ、フィジカル(運動能力)で劣る京大生にとってみれば、その愚直さこそが選手個々の自主性を創っていくプロセスだったんですね。でも去年は選手の自主性に任せるという意識が、どこかで『うまくやれば勝てる』という意識に変わってしまっていたからあかんかった。」

■「失敗」を踏まえ、原点に戻ることですか？

「うちのチームでフットボールをやることは、『修行』だと思う。いわば宗教と同じですわ。煩惱に苦しみながらも、悟り、諦めの中から、最後は『しゃあないな』とハラを括る。修行は自分の意志でやるもの。チームはもちろん大事だが、その前にまず『自分』というものがなければならん。」

■「個」の自立がまずは大事だと

「修行の場には油断をみせず緊張感をもって臨まなあかん。そういう世界があるから100%気を許せる場所も欲しくなる。みんなが集まる友達の下宿のような。『自立』するには一方で『依存』が必要なんです。」

「今の若者を見ているとその区別が無くなくなってきているように思う。コンビニで座ってパン食べてる学生なんかはその典型。外と内の区別がなく、スキだらけでしょ。」

「最近よく言われるような『思いやりの社会』いうのもおかしい。『社会』は外であり緊張サイドの世界。善意じゃなくて、悪意の方が多いという気持ちで個人がしっかりと歩いていかんと。だからこそ気を許せる家庭が大事になるし、また大事にできるんです。」

「スポーツの世界も一緒。今年はまた愚直なフットボールに戻らなあかん、思ってます。」

(インタビュー全文を「京経WEB」に)

聞き手:
大西辰彦(おおにし・たつひこ)
1958年生まれ。関西学院大学法学部卒。大学時代はアメフト部「KGファイターズ」に籍を置いたアスリート。卒業後は京都府庁に入り、産業政策や府総合計画の企画立案に携わる。2002年京都リサーチパーク株に移籍、実践の場で新事業創生に取り組む。2004年関学大大学院修了、MBA取得。同年に京都大学大学院非常勤講師。主要論文に『京都バレーのクラスターモデル』ほか。



【広告】

京経ウェブ
ブログでリポート

京都経済新聞社

Point 1
RSS(1.0)による記事ヘッドラインの配信スタート!(毎週月曜日更新)
個人でご利用のホームページやblogなどに気軽にご利用できます。

Point 2
2004年12月13日発行号よりメールマガジン創刊!
更新された記事をダイジェスト版でお届けします。

さらに充実のコンテンツ!
随時更新中!!

「週刊京都経済」に掲載の
記事を毎週更新!(月曜日)

随時更新のブログもスタート!
★築地達郎の編集長ブログ
★高松平蔵のインターローカルブログ
from ドイツ

一詳細はホームページにてご確認ください
京都経済新聞社
http://www.kyoto-keizai.co.jp